



自分が世界と出会う場所

早来地区 義務教育学校設置 について

令和5年4月 義務教育学校スタート

平成30年9月の北海道胆振東部地震により被災した早来中学校の再建工事が7月から開始しました。

令和4（2022）年10月頃に校舎が完成し、引越し作業などを経て、翌1月から早来中学校と早来小学校が使用を開始し、4月に義務教育学校として開校されます。

安平町が目指す 義務教育学校の姿

早来中学校の校舎や体育館、敷地内の地盤などに大きな被害を受けました。

仮設校舎となっていた早来中学校を今後どのように開設するか検討した結果、早来小学校に隣接する土地を取得し、そこに老朽化する早来小学校との一体的な校舎を新築することとなりました。

加えて、様々なメリット・デメリットを検討したうえで、早来小学校と早来中学校を同じ校舎内で別々にするのではなく、9年間の義務教育を一貫して行う「義務教育学校」という一つの学校にする形を選択しました。

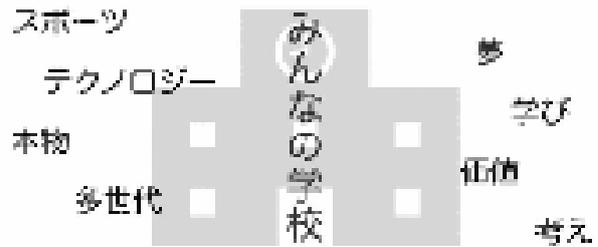
コンセプト 『自分が世界と 出会う場所』

3ページの上で紹介している図は、新しい学校をどのような学校にするかということを表現した言葉です。住民の皆さんとイチから考え出されたものです。

「自分」とは、子どもだけを指すものではありません。また、「世界」とは、海外のみをさすものではありません。子どもも保護者も地域の方々も、みなさんの出会いが広がり、つながる。子どもを中心に捉えつつ、高齢者の方々を含めた大人も豊かな学べる場所をつくりたい。そんな願いが込められています。

安平町の
「自然」「地域」「文化」「人」に触れ、支え、
支えられる中で、
学校を通して
「スポーツ」「テクノロジー」や
「異年齢、多世代」の人達、
たくさんの「本物」と出会い、
さらに
「色々な考え」「多様な価値観」「多くの学び」
「夢」とも出会い、
“世界”に生き、
“世界”へと羽ばたいていく

自分が“世界”と出会う場所



復興のシンボルとして

早来中学校の生徒たちは、今も
なお、早来小学校から体育館を借
りています。グラウンドも借りて
います。様々な制約の中で、先生
たちとの創意工夫と早来小学校の
先生や児童たちの協力で授業を
行っています。

そんな児童・生徒や先生方の姿
を見ている地域の方々からは、「単
なる復旧にしたいくない」「これか
らの社会変化を見据えた新しい学
校にしよう」といった前向きな意
見を頂戴しました。

ピンチをチャンスへ。元に戻す
だけでなく、前よりももっといい
学校をつくることで、安平町の『復
興のシンボル』として進めていこ
うということになりました。

仮設校舎で学校生活を 送った生徒の皆さんへ

地震後、町民センターでの授業
を経験した生徒の皆さん、仮設校
舎での中学校生活3年間を終える
生徒の皆さん、途中から新しい校

舎へ移る皆さん。皆さんは、これ
まで早来中学校を卒業した先輩方
とは異なる経験をしました。辛く、
大変な思いをしたこともあったで
しょう。しかし、困難な状況でも
なお前を向き、頑張っている皆さ
んの姿は、私達大人に多くの希望
と勇気、元気を与えてくれました。
本当にありがとうございます。

そんな先輩たちの姿を見てきた
皆さんの後輩は、これから素晴ら
しい学校をつくっていつてくれる
ことでしょう。どうか皆さんも、
これからは地域の一員として、新
しい学校を利用してください。そ
して、後輩たちを支えていつてく
れたらうれしいです。これからも
よろしくお願いします。

連載をスタート

早来地区に建つ新しい学校、義
務教育学校について、マチの皆様
にお伝えしたいことがたくさんあ
ります。そこで、9月号以降も連
載することで、皆様にもっと新し
い学校について知っていただきた

いと考えています。今後は、次の
ようなことをお知らせしていく予
定です。若干の変更がある可能性
もありますので、予めご理解くだ
さい。

- ・義務教育学校とその機能
- ・工事や開校の時期など
- ・建設地や校舎の配置など
- ・なぜ義務教育学校とするのかなど

これから決めること

- ・スケジュール
- ・建設にかかる費用など

次のことについては、地域の
皆様や学校の先生など関係者の方の
ご意見をふまえながら、今後決定し
ていきます。決まりましたら随時お
知らせします。

- ・学校の名前
- ・制服
- ・校則
- ・校歌
- ・校章
- ・行事
- など